

Tom's

VOL.9
SUMMER 2009

特集

おいでよ、富大へ!

学長と話そう! いろいろな授業ピックアップ
施設紹介 クラブ・サークル紹介 卒業後の進路

研究者紹介 ハロー先輩 Tom's薬箱/眠くならない風邪薬
学内探訪/魚津埋没林 Tom'sギャラリー



私達が聞いてみました！



小山 千尋
こやま ちひろ
医学部
看護学科2年
石川県出身



澤田 尋子
さわだ ひろこ
医学部
看護学科2年
新潟県出身



吉原 正智
よしはら まさとし
経済学部
経営学科3年
富山県出身



伊藤 あかね
いとう あかね
芸術文化学部
造形建築科学コース4年
長野県出身



学長と話そう！

伊藤 学生時代の経験が今に活かされているとお感じになることはありますか？

学長 私の専門は農業経済学なんです。理論ではなく、自分でしっかりデータを集めて実証分析をすることを教わりました。その教えが、今の私の原点になっています。ちなみに、これは「実証経済」といって、日本では篠原三代平教授（一橋大学名誉教授）が先達者といわれています。実はこの方、経済学部の前身の高岡高等商業学校のご出身で、文化勲章も受賞されました。経済学部の吉原くん、あなたの大先輩だよ。

吉原 はい！

学長 ぜひ知っておいてください。学問には、やっぱり先達が必要なんです。だから、皆さんもぜひ富山大学で先達を探して、多くのことを学んでほしいと思います。富山大学には素晴らしい先生がたくさんいますからね。

澤田 住みやすいです。私は長岡出身ですが、富山に残るつもりです。

先輩たちが入学を決めたきっかけや、高校との違いで戸惑ったこと、富山大学の役割って？富山大学がめざしているのは？など…、高校生の皆さんにメッセージを送ります。

自分で作る時間割。だから授業にも積極的になれる。

学長 大学に入って、「高校とは違うな」と感じたことはあった？

吉原 自分で授業を選び、自分で時間割を作るということでした。

伊藤 私も、正直戸惑いました。特に私は芸術文化学部の一期生だったので、時間割もそうですが、何もかもが初めてのことがばかりです。

澤田 私も、90分の授業が5限まであるなんて耐えられないって不安だったんですが、気づくとアツという間で驚きました。自分が望んで選んだ学科だから、授業にも積極的に参加できる気がします。

学長 今の話、本当にうれしく思いますよ。小山さんも看護学科だけど、なぜ看護の道を選んだのですか？

小山 元々、医療系にとっても興味があったのと、看護師の仕事が安定しているというの大きな理由でしたね。

吉原 僕の場合は、進路を決める時、自分でやりたいことが見えてなかったんです。それで両親に相談したら「経済なら領域も広いし、やりたいことは大学に入ってから見つければいい」と。でも、その通りでした！今は自分のやりたいことが少しずつ見えてきたので。

学長 いい方向に向かっているわけだ。目標をなくして、自分は何をすればいいんだろうというケースもないわけじゃない

学長 それは嬉しいね。というのも、富山大学には、富山に定着する人材を育てるという大きな役割も持っているからです。特に現代は少子化が進んでいましてからね。富山に若者がいないということになると、県自体が弱くなってしまいうでしょう？富山大学は富山を気づける力になりたいと思っています。

今後の富山大学は？

Message

高校生の皆さんへ

「早く進路を決めなくて」と焦ることはありません。ただ、「私はこんなことをやりたい」という夢を持って入学してください。そういう思いがあれば、自分でカリキュラムを選び、大学生活を過ごしていく中で自分の道を切り拓いていきます。富山大学には、皆さんの大学生活を支える多くのスタッフと素晴らしい環境があります。ぜひ夢をたくさん抱えて富山大学に来てください。そして、一緒に夢をかなえましょう。

からね。しっかり勉強してください。道は必ず開けると思っています。皆さんはどう？大学に入って、自分は変わったなと思うことはある？

伊藤 行動力がつきました。授業で建築への興味がどんどん出てきて、気になる建築物は何でも見てみようと思っただけでも出かけようって行動に移すようになったんです。

夢中になれるものがあった。それは私の大きな財産。

小山 学長は学生時代、どんなことに熱中されていたんですか？

学長 実は私、元々、映画監督になりたかったんですよ。できれば、黒澤明監督のような。高校の時に「七人の侍」を見て以来、黒澤映画はもう100回以上観たかな。自主制作の映画も手がけたことがあるんだよ。映画界には進めなかつたけどね。

小山 そうなんですか！意外です！

学長 意外かなあ(笑)。でも、自分のやりたいことが自由にできるのも大学生活の特権だと思うんだよ。だから、夢中になれるものがあったというのは、私の大きな財産になっていますね。もちろん、勉学も大事だけど、大学で学べる教養は限られているので、自分で教養を広め、深めていってほしい。そのお手伝いをするのが大学なんです。

学長 貴重なご意見、ありがとうございます。大学にある3つのキャンパスの人達ももっと活発に交流することで、さらに多くの研究成果が生まれ、魅力あふれる教育ができると思っています。学生の皆さんにも自分の専門分野に限らず多くの考えに触れて欲しいんです。例えば、教養科目は共通のカリキュラムにして、五福キャンパスで皆さんが交流しながら1年を過ごしたらどうかという構想もあるんです。実現するためには、解決しないといけない課題も多いのですが、今皆さんのご意見を聞いてまた背中を押してもらったような気がします。ぜひ実現に向けて尽力します。今、富山大学には大体先生が千人、職員が千人、学生が1万人います。この人的資源を最大限に活かして素晴らしい大学にしていきたい。皆さんも有意義な大学生活を過ごしてください。



富山大学 学長
西頭 徳三
Saitou Tokuso



Pick Up
化学実習
(薬学部)
「教養教育科目」

基本をしっかり身につけてスタート！

薬学部では「くすりのスペシャリスト」を目指します。化学物質である医薬品を正確に取り扱えるように、1年生の教養科目から実験が多く組み入れられています。化学実験の授業では、薬品の性質や扱い方、実験器具の使い方、廃棄物の処理など、基本操作をマスターすることからスタート。実験は見ているだけでは無意味、自分でやってみることが大事です。しっかり基礎を身につけて専門分野の勉強に備えます。

薬剤師として社会に貢献したい、新薬の研究に携わりたい... 将来の夢に向かい、みんな真剣に取り組んでいます。



Pick Up
寄附講義
(経済学部)

第一線の
プロフェッショナルに学ぶ。

経済学部のカリキュラムには、社会や地域との連携によって学びの充実度を高めるため、大手メーカーや生命保険会社など外部講師による講義のほか、証券会社や銀行がノウハウや人材(講師)を提供して開講する寄附講義が積極的に組み込まれています。これは、産学連携の取り組みの一つで、実務経験に基づいたリアルな講義を受けられるのが特徴。各分野の第一線で活躍する方々から直接話を聞く機会を通して、知識プラスアルファの生きた経済を学ぶことができます。



立山カルデラの観察

Pick Up
フィールドワーク
(理学部)

富山の自然を教材にしたサイエンス。

立山連峰から富山湾まで高低差4000mにわたる山・森・里・川・海の自然環境と多種多様な生態系は、地球環境のミニチュア版としての理想的な実験場！理学部では、この恵まれた環境を活かした野外実習を積極的に取り入れています。例えば立山では雪による大気環境調査、地獄谷硫黄堆積物や立山カルデラの観察など。このほか、富山湾の水質調査、海岸の漂着物調査など、講義室の勉強だけでなく、現場体験重視の実験・実習と連携したカリキュラムで環境マインドを育てます。



小矢部川採水調査



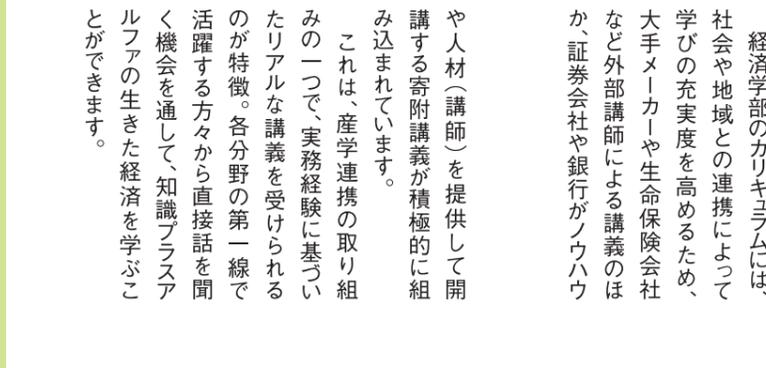
Pick Up
コロキアム
「教養教育科目」

関心ある人、勉強したい人が集まって楽しく自由に討論。

コロキアム...それは単位認定を目的としない授業。単位をもらえなくてもいいから学びたい！語り合いたい！そんな純粋な向学心を持った学生達が集まります。

現在は「競馬学」「世界の映画」の二つのコロキアムを開講し、教員と同じテーブルで議論を交わしています。

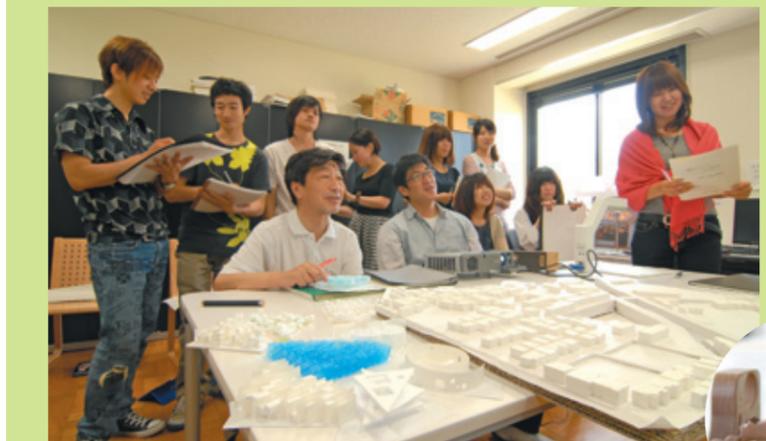
「競馬学」は競馬の歴史、血統の理論など、競馬および馬文化の理解を深めることを「世界の映画」では、映画を通して、制作された国・地域の文化や社会を学んでいきます。



Pick Up
地域との連携授業
(芸術文化学部)

注目！
コラボレーション授業。

芸術文化学部には、地域と連携した様々な授業があります。例えば、地域や地場産業が抱える課題を授業に取り入れ、学生たちと地域がタッグを組んで問題の解決に取り組むコラボレーション授業もその一つ。地元企業を依頼主にした広告デザイン授業、間伐材を使ったインテリアや家具の提案、まちづくりWebのプランニングなど、50以上の科目がエントリーされています。授業で制作した作品は教材としても使えるよう「可視化」して学内に配置されるほか、公開評議会やデザインコンペへの応募などを通して、学外にも広く発信しています。



Pick Up
薬理学実習
(医学部)

小グループによるきめ細かな授業。

医学部の教育は、大人数の座学ではなく、きめ細かい授業で医学教育を行うのが特徴で、実習前には、授業の内容やポイントなど、教官が独自に作成したプリントを配布。小グループに分かれて実践的な実習に臨みます。グループのメンバーそれぞれが協力しあい、コミュニケーションをとりながら実習を進めることも、チーム医療の大切さや育む学びにつながっています。



大きな窓が開放的で
気持ちイ〜イ！



開放感があつて
気持ちいいですよ。

ティーブレイクは、ココで！

五福キャンパス オープンカフェ アザミ

大きくとった窓からの風景は、正門からまっすぐ続く並木道。開放的な雰囲気なかで、ゆっくり過ごせます。ミーティングスペースとしても活用されています。

杉谷キャンパス 医学図書館

蔵書数は約22万冊で、専門書はもちろん、医学雑誌なども充実！電子ジャーナルも充実しており、気になる論文はすぐ入手可能！学生はもちろん、教授やドクターたちも利用しており、勉学や研究を24時間体制でサポートしています。



調べたいときも
いつでも利用できるのが
いいですね。



24時間、365日、いつでも利用可！



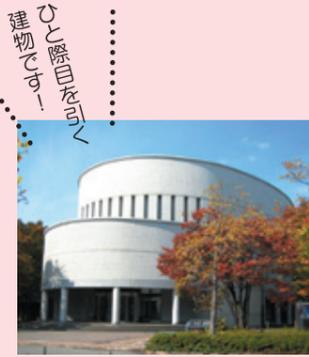
Facilities

施設紹介

キャンパスのランドマーク的存在。

五福キャンパス 黒田講堂

五福キャンパス正門を入ってすぐ右側にある楕円形の建物。学内外の講演会やコンサートなどに利用され、地域の方々にも広く親しまれています。



広い！客席は
500席あります。



キャンパスライフをサポートする施設。

キャンパスは、学びの場であると同時に、充実した学生生活を過ごす大切な場でもあります。それぞれに個性のある3つのキャンパスから、ちょっと気になる施設をピックアップしてみましょう。

心身の健康づくりに！

五福キャンパス トレーニングルーム

気持ちよく汗を流し、健康な身体を維持して、しっかり勉強しましょう。筋トレ、体力アップ、ダイエット(!)など、思い思いの目的で使われています。

細マッチョも
ゴリマッチョも
思いのまま!?



いろいろな
サークルがあるよ。



いろいろな
サークルがあるよ。

どんなサークルがあるかな？

五福キャンパス サークルビレッジ

サークルビレッジとは、大学のクラブ・サークルの部室が集まっている場所。体育会系、文化系、いろいろなサークルがあり、活気にあふれています。



未来のアーティストたちが
ここから育っていくぞ！



学生たちの作品がずら〜り！

高岡キャンパス TSUMAMA-HALL

吹き抜けの開放的なエントランスホールは、学生たちが授業で制作した作品の展示スペースとしても活用され、まるでギャラリーのような雰囲気です。

よさこい部「TNC」

一度やったら やめられない楽しさ

こんにちは。富山大学よさこい部「TNC」です！
部員数は約50名、練習は高岡キャンパスが中心で、激しくスタイリッシュなよさこいを目指してみんなで楽しんでいます。毎年オリジナル（衣装、楽曲、振り付け）のよさこい演舞を作り、8月に富山市で開催される「よさこいとやま」という大会をはじめ、県内外で開かれているいろいろな祭りにも参加しているんです。

よさこいは、一度やったらやめられない楽しさ！
みんなで気持ちを一つにして踊り、お客さんの歓声や拍手を浴びた時の感動は言葉にできません。まさに青春が味わえますよ。少しでも興味のある方は気軽にご連絡ください。



陸上競技部

北信越対抗選手権制覇！

陸上競技部では、3キャンパスが合同で練習しています。競技の特性上、個人練習が中心となりがちですが、いろんな人との練習は楽しいし、刺激にもなります。

最大目標にしているのは、9月に行われる全日本学生対抗選手権大会の上位入賞です。北信越対抗選手権を制した私たちですが、全国との差は小さくありません。ですが、追いつけないなんて全然思っていません！単純な話、陸上競技を楽しむことができ、そんなもって全国で勝てれば最高じゃあないですか。もちろん言うのは簡単で、言うだけなら夢でオシマイです。私たちはこの『目標』を達成して、その『最高』を味わうために、日々努力しています。



ギターマンドリンクラブ

美しいハーモニーを奏でて

私たちは、部員約45名で活動しています。演奏会は年2回で、春には金沢大学・富山大学医学部薬学部と合同で行われる北陸学生合同演奏会、秋には定期演奏会があります。

マンドリンオーケストラは高音を担当するマンドリン、中音を担当するマンドラテナー、低音を担当するマンドロンセロ、他にギター、コントラバスで構成されています。演奏会の他にも、七夕コンサートや夏合宿など年間通して様々なイベントがあり、充実した楽しい大学生活が送れること間違いなしです。マンドリンオーケストラになじみのない方も多いと思いますが、興味など少しでもありましたらいつでも部室に来てみてください。

また演奏会が開催される際にも皆様のお越しを部員一同心よりお待ちしております。



Club & Circle

準硬式野球部 (杉谷キャンパス)

念願の全国大会出場！

準硬式野球部は現在部員21人、マネージャー14人。練習日は火・水・金・土・日で、土日に練習試合が入ることもあります。一見、「練習日が多いんじゃないかな!？」と思われるかもしれませんが、それは気のせい、冬期は月・金の週二回になるし、試験週間や長期休暇中にはオフ期間も設けているので、各自、部活動以外にも幅広い活動を行っています。

大学から野球を始めた人も何人もおり、初心者・経験者どちらも満足できるようなチーム作りを心がけています。今年度は念願の全国大会出場を果たしたわけで、もうここまで来たら全国優勝を狙い、全国に誇るダークホースとして日々精進しています。



女子軟式野球部 「pretty」

マドンナ達の甲子園へ！

よく誤解を受けるのですが、私たちの部は、ソフトボールではなく、野球です。全国では約25の大学チームが活動していますが、国立大学の女子野球部は本校だけだと思います。毎年夏には、女子野球発祥の地である富山県魚津市で全国大会（通称「マドンナ達の甲子園」）が開催され、何と!予選なしでいきなり全国大会に出場できちゃいます!! プレーヤー19人、マネージャー4人の23名は、この大会での勝利を目標に頑張っています。

大学から野球を始めた部員がほとんどですが、今ではみんな野球のおもしろさに夢中! 野球は好きだけど見る専門という女の子、一緒にマドンナ達の甲子園をめざしませんか?

先輩からのメッセージ

自分の可能性を見つける大学生活を！

私は、富山大学で経済を学びながら、県外のアナウンス学校にも通い、アナウンスの勉強をしていました。

狭き門のアナウンサー試験。内定が出たのは、卒業ギリギリの12月。経済学部の仲間がどんどん内定していく中、とにかく諦めずに頑張りました。憧れのアナウンサーになれた今、毎日が充実していてとっても楽しいです。

大学生活の4年間を中身のあるものにするかどうかは、全て自分次第。ぼーっとしていたら、あっという間に過ぎちゃ

いますよ。私は、経済とアナウンスの両方の勉強に真剣に取り組み、充実した学生生活でした。今の自分があるのは学生時代の努力のおかげだと思います。皆さんも、色々なことが吸収できる大学生活の中で、自分の可能性を見つけてください。そして、目標に向かって思いきり努力してほしいと思います。



株式会社チューリップテレビ
放送本部 報道制作局
アナウンサー

松田 亜希さん

(平成20年3月 経済学部卒業)

大学で思考力を磨こう。

現在、私は携帯電話用カメラのレンズの光学設計をしています。マイクロカメラといわれるくらい小さなレンズを作成するには、高度な設計技術と微細加工技術が必要です。光学知識はもちろん、メカ機構、レンズの製造方法等、色々なことを理解していなければなりません。難しい仕事だけに良い設計ができたときの喜びは大きな自信になっていきます。大学、大学院で行っていた研究は、現在の業務と直接的な関りはありませんが、身につけた物理的な思考は充分役に立っていますし、何より光学への興味を抱くことができたとい

うことが現在の仕事を選択する大きな動機となりました。

就職活動をして気づいたのは、採用面接は一方的に答えるのではなく、面接官と会話になるよう心がければ、意志が通じやすくなること。私は、履歴書の内容も面接官のとっつきやすい内容に工夫したことが、良い結果につながったのだと思います。



コニカミノルタオプト株式会社
光学事業本部 開発統括部
ユニット開発部 開発G

田中 宏明さん

(平成18年3月 大学院理工学研究科修了)



キャリアサポートセンター長
西川 友之

えるキャリア(Ⅱ人生)形成の支援」を2本柱に、学生一人ひとりの個性を重視しながら、進路決定の支援を行っています。

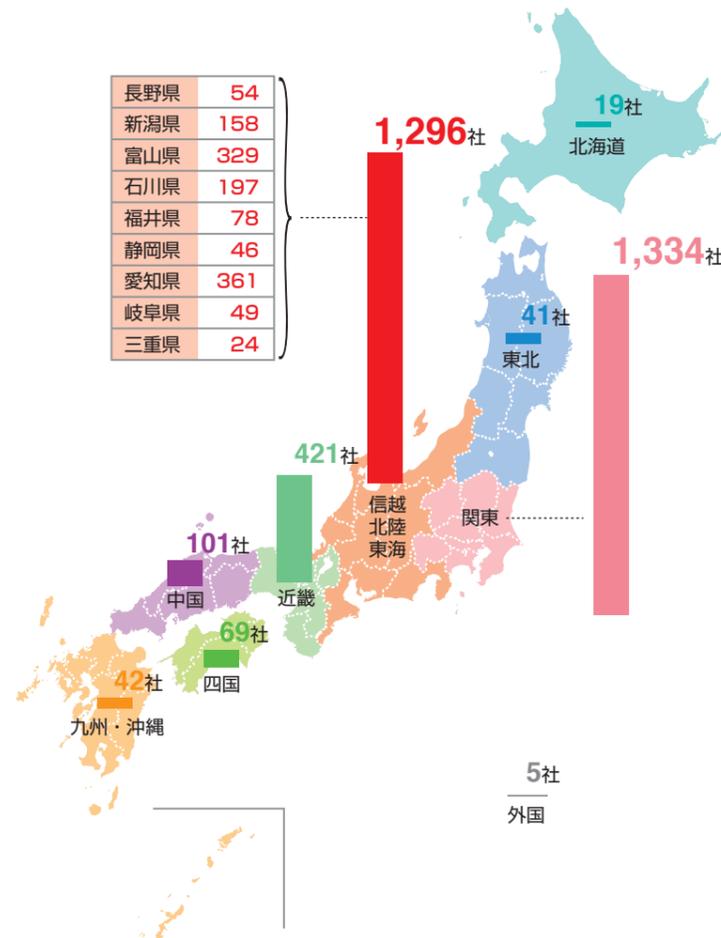
また、各界の第一線で活躍する方々から豊富な人生経験をふまえた話を聞く「富大流人生設計講座」を正式授業科目として組み入れるなど、「就職活動の実践的な支援」と「社会人としての自分らしい生き方を考

えている「すでに卒業後の道を決めている」という学生もいれば、「漠然としていてわからない」という学生もいます。自分の進路を決めることは、人生の大きな課題です。自分はどうな仕事に向いているのか、自分の専攻する学問を将来どう活かせるのか。「大学卒業後Ⅱ人生の生き方」を模索するなかで出会う不安や悩みと一緒に向き合おうのが、キャリアサポートセンターの大きな役割です。富山大学では今年度から、就職ガイダンスやビジネスマナー講座の開催曜日や時間を見直し、全ての学部の学生が受講できるようにするなど就職活動の支援に取り組んでいます。ガイダンスの内容は、エントリーシート(応募書類)の作成法や面接の対応、ビジネスマナーなど多彩なメニューを用意しているほか、進路全般の相談やインターンシップ(就業体験)についても、専門のキャリアカウンセラーが、親身になってアドバイスしています。

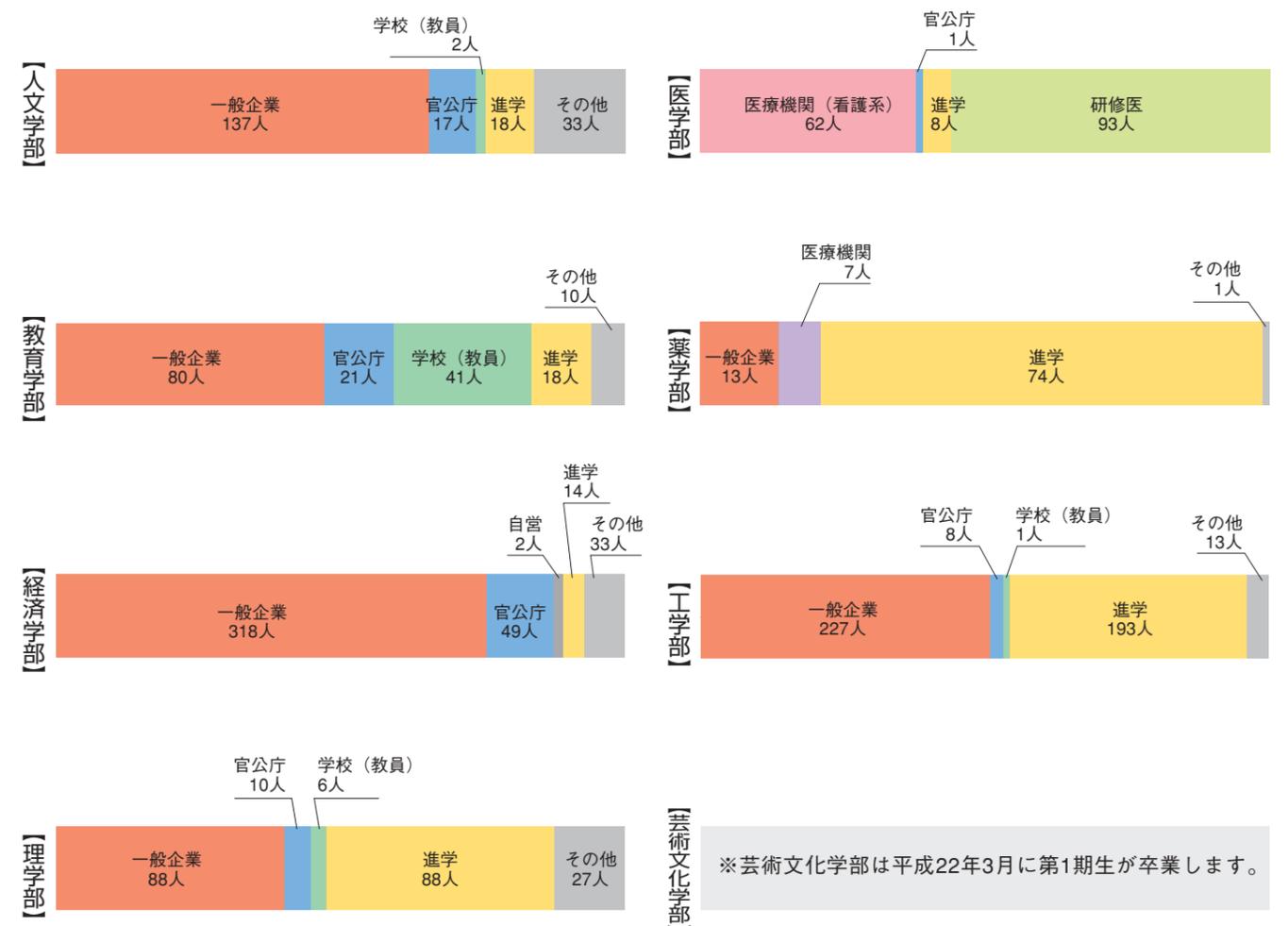
個性や能力を最大限に発揮できる進路選択に取り組めるよう、サポートします。

都道府県別求人企業数一覧

信越・北陸・東海エリアおよび関東エリアを中心として、全国から求人があり、高い就職率を誇っています。



平成20年度 学部別就職・進学状況



大学院理工学研究部 教授

松島 紀佐

次世代超音速機への挑戦

新しい未来の航空機を作りたい！

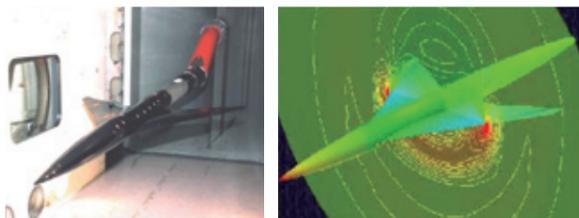
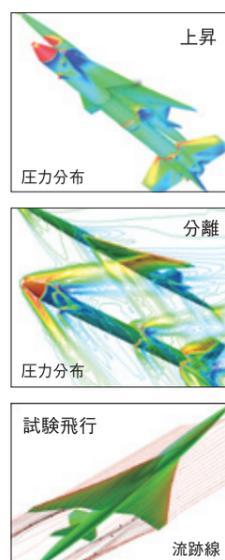
ライト兄弟の発明から始まった航空機の歴史において、音速の2倍で飛行するコンコルドの登場は、まさにセンセーショナルであった。しかし、運航コストが高く、離発着時の騒音や超音速飛行時に発生するソニックブームなどの問題もあり、2003年に商業運航を終了。音速を超える民間の航空機は未だに現れていない。コンコルドの課題を解決し、スピードはもちろん、経済性や環境性を兼ね備えた超音速旅客機の実現に向け、EU諸国やアメリカなどで開発・研究が進められている。

松島教授は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）を中心とする日本の研究・開発プロジェクトに参加。スーパーコンピュータ（通称スパコン）とよばれる高速計算機を用いた数値流体力学の側面から、次世代航空

機の設計に携わってきた。これは、コンピュータの中のバーチャルな世界で機体を飛行させ、超音速機の空力性能やソニックブームなどをシミュレーションし、最適な機体形状を設計していく手法で、近年飛躍的に発展した学問分野。機体の周りを風がどう流れるか。その風によって機体はどんな抵抗を受けるか。松島教授によると、「航空機の試作モデルはもちろん試験飛行の解析も、すべてスパコンでシミュレーションできる」という。

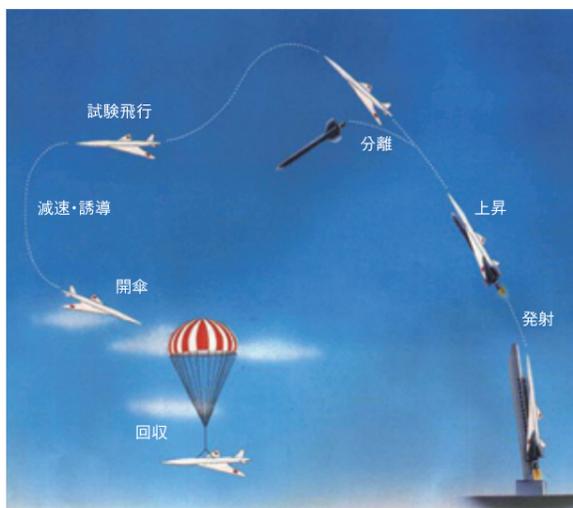
JAXAの客員研究員でもあることから、ご自身の研究を活かした超音速旅客機を作りたく強く念じているという。「この研究を結実させることで、富山の誇る高度なものづくりのベクトルを航空機に向けてもらい、富山での航空機研究や産業の創出に貢献できたらと考えています」と語る松島教授の思いは、未来に向かって羽ばたき始めている。

飛行試験各段階のスパコンによる数値流体力学解析



風洞実験モデル (JAXAによる実験)

スパコンの数学モデル



2005年10月、オーストラリアで実施したロケット実験機の飛行試験。無重力のロケット実験機をロケットで打ち上げ、分離した後、高度18km、マッハ約2の条件から飛行実験を開始。空力性能や表面圧力などの技術データを取得し、終了後にパラシュートで回収した。

<http://www.apg.jaxa.jp/research/cyoonsoku/kogata.html>

意識的でも無意識でも、 痕跡には何か意味がある。

いっぱいになった本棚の上部の隙間に、横にして置かれた本。洗面所の窓際のわずかな平面上に雑然と並べられた小物たち。なぜそうなったのか？ 難しい理由は、たぶんない。しかし、「生活者の何気ない行動が、たぶんあげた『痕跡』という視点でこれらを観察してみると、意外な発見が、おもしろい」と小松教授はいう。その痕跡が、人間の環境や道具の改善、さらには新しいデザインを生み出す大きなヒントにつながるからだ。道具や環境は、人の行動と適切に対応させてデザインし、配置することによって、「したい」ことを自然に「させる」機能を持つこと

とができる。平面があると置きたくなる。つまみがあれば握りたくなる。穴があると覗きたくなる・・・というように、自然な流れで行動を導くアプローチをデザインに結びつけていく。「痕跡からの発想」が向かうベクトルは、ここにある。

「痕跡からの発想」から生まれた改善例は、高岡キャンパス内でも随所に見ることができる。木材工芸実習室にある伝統的組み手の分解見本、制作の過程がわかるサンプルなどの「痕跡」を可視化したのも、その一つ。「痕跡からの発想」は、教育というフィールドにも活かされている。「痕跡は、知りたい・見たいと思った時に情報が立ち現れてくる」と小松教授。なぜ、本が横に置かれたのか、なぜ狭い平面に物が並べられたのか。一見、不自然なことを使い手の立場で推測し、作り手として受け止め、形にしていこう・・・と文章にすると小難しく感じるかもしれない。しかし、小松教授の言葉を借りると、「困ったからやっちゃった」という痕跡を見つけたのはとても楽しいこと」なのである。

平成21年4月、小松教授は共同研究者と共に痕跡学研究会を発足。痕跡の中の情報をどのように抽出し、人の行動とどう結びつけるかについて研究を進めている。住環境をはじめとしたあらゆるシーンにおけるデザイン改良へのアイデア提供、社会の仕組みへの提言など、痕跡を手がかりに進める研究は様々な応用分野へと広がっていく。



木工スプーン制作過程を可視化した「痕跡」づくり。このほか、学内には学生の手がけた作品＝痕跡が様々なメッセージを発信している。



個展「愚者の楽園」では、人間の営みが作り出す住まいや小屋の不可解な痕跡から発想した住宅の造形を発表。これらの住まいの主たちは、小松教授いわく「ちょっと変な人たち」。訪ねてくる友達もないため出口のない家、自分の家をカモフラージュの家で隠した隠病者の家などが表現されている。

芸術文化学部 教授

小松 研治

痕跡からの発想

小学校教師を志していた私が富山大学教育学部に入学したのは昭和34年4月。1年目は連町キャンパスで学びました。

昭和38年4月に富山県教員に採用され、以来、38年間務める中で、教育の難しさと奥の深さ、そして教師としての醍醐味を味わったのは、富山市立堀川小学校での13年間です。それまでの教育観、授業観、子ども観を見直し、「子どもに学ぶ」教育から、本当の「生きかたが育つ」ことを実感しました。

子どもの生きる姿を描きあげ、問題の究明に取り組み熱情溢れる堀川小学校の教師集団の中で教師としての力量を磨かせていただいたことが、その後の私の人生を大きく拓くこと

になるのです。

小学校校長を退職後、スクールカウンセラーとして児童生徒にかかわるようになって5年間。現役時代とは異なった立場から、子どもたちと触れ合う中で、「人間は、広い意味での『教育』によって『人間』となる存在である」ことを痛感しました。

大きな転機は、昨年4月から文部科学省が、優れた指導力を備えた教員を育てようと肝いりで設置した「教職大学院」の一つ創価大学教職大学院への勤務。創価大学教職大学院の授業科目「教育課題実地研究」で国内の先進校に学ぶ指定校に富山市立堀川小学校と奈良女子大学附属小学校が選ばれ、私も堀川小学校にか

かわることになったのです。

創価大学では世界44カ国・地域105大学と国際交流を行っており、私自身、海外の多くの教育者と語る中で、世界から見た日本の教育のよさと改善点が見えてきて、新たな目を開かせていただいています。

「学ぶということは、人生を新たな目で見つめることに通じる。学び続ける人の前に、人生は限りなく美しい」と私の最も尊敬する恩師の言葉が胸に、生涯自己更新の日々でありたいと願っています。

馬場 百々子

創価大学教職大学院 教授
(元 富山市立神明小学校長)
昭和38年3月 教育学部卒業



学び続ける人の前に、
人生は限りなく美しい

人生 情熱をかたむける 仕事がある



松井 竹史

テイカ製薬株式会社 代表取締役社長
昭和38年3月 薬学部卒業

■薬の匂い
今まで幾つもの人生の分岐点があった。昭和20年、富山市戦災の前日、古鍛冶町から西大森へ疎開した。祖父の判断のお陰で今の私がある。幼い頃から、薬の匂いの中で育ち、疎開先も製薬製造所であった。大学は地元薬学部を選んだ。

■薬の本質は何か？
薬は人に作用し、効果を発揮する。それなら効果を確かめたい。当時、分子薬理学があり、薬物受容体理論が盛んだった。今も構造活性相関が記憶に残り、新しい医薬品を創り出したいと考えている。昭和38年3月卒業。

その年に設置された大学院薬学研究科の第一期生として2年間、その後助手として5年間、研究・教育に携わった。

■人間至る所「青山有り」
昭和45年、現在のテイカ製薬株式会社に入り、研究開発・試験品質管理・製造等の各部門を担当した。テイカ製薬の設立は昭和20年(1945年)。その前身は帝國水産加工研究所、第一薬品化成という研究開発集団である。創設時の「新製品、新製剤を世にいち早く提供する」という精神は今も脈々と受け継がれ、打錠機の導入、糖衣技術、目薬、パップ剤は県内最初の製品化・製品提供を行ってきた。

■懸念にやる
富山大学薬学部同窓会の会長として母校の発展に、また本年4月からは富山県薬剤師会の会長として薬剤師の職能・職域拡大に取り組んでいる。創業、薬剤師を目指す諸君、薬の都富山で学ぶ諸君、平素から事象の本質を見抜き、弛まない努力と何時如何なる場面に於いても全てに情熱を持つて行動されんことを期待しています。

TOM'S 薬箱

夏は、熱帯夜による寝不足、暑気による食欲不振、日焼けなどが原因で、免疫力低下により夏風邪を引きやすいという方が結構いるようです。

また、風邪薬を飲むと眠くなるという経験をお持ちの方はたくさんおられると思います。これは風邪薬いわゆる総合感冒薬には、くしゃみや鼻水を引き起こす物質であるヒスタミンの作用を抑えるため、抗ヒスタミン薬が配合されていることが多いからです。ところが、ヒスタミンの作用には、脳内物質として眠気を抑えて覚醒状態を保つ重要な役割もあり、抗ヒスタミン薬が脳内に移

眠くならない風邪薬

行すると、この働きもまた抑制されるために、眠気がさしたり、頭がボーッとすることがあるわけです。服用後に眠気を感じさせないまでも、集中力や判断力を低下させるので、ミスが犯しやすく、仕事や勉強、車の運転、スポーツといった日常生活にも支障を起こします。

抗ヒスタミン薬が脳に働くと眠気が出現するわけですから、脳へ移行しにくい薬が望まれ、そのような目的で非鎮静性の第二世代抗ヒスタミン薬が次々と開発されましたが、眠気による影響は少ないというものの個人差は存在し、しかも医療機関でしか処方されないものがほとんどです。

OTC医薬品(大衆薬)の総合感冒剤には、上記の抗ヒスタミ

ン薬のほか、プロムワレリル尿素やアリルイソプロピルアセチル尿素など催眠・鎮静成分が、鎮痛作用を高めるために配合されていることが多いですが、これら成分による眠気の防止を期待して、たいいてはカフェインが加えられています。カフェインの配合はまた解熱鎮痛作用をもつ薬物の効果を増強する働きもあります。

最近、「パブロン50」や「ディクル DayQuil」など、抗ヒスタミン薬やプロムワレリル尿素など眠気の出る成分を含まない風邪薬がOTC薬として販売されています。これらの薬の主成分は、熱を下げるアセトアミノフェン、咳を鎮めるデキストロファン臭化水酸塩水和物のほか、鼻閉を改善するフェニレフリンや痰を出やすくするグアヤコールスルホン酸カリウムなどが配合されています。したがって、解熱、鎮咳などには効果を示しますが、鼻水が主症状の場合にはあまり適応にはなりません。

風邪の引き始めに使用する「葛根湯」や、鼻かぜに使用する「小青竜湯」、胃腸の弱った風邪に使用する「柴胡桂枝湯」などの漢方薬も眠気が出にくい風邪薬といえます。

夏風邪は冬の風邪とは異なり、症状は穏やかですが、長引く傾向があり、また高温多湿の環境で活動的になるアデノウイルスやエンテロウイルスなどが原因となるため、発熱、のどの痛み、胃炎や下痢などの消化器症状が主体で、鼻水や鼻づまりはそれほど多くはありません。このような夏風邪の特徴を踏まえた上で、万一罹患してしまったときには、適切な処方とともに、無理をせずに早めに休むことが一番です。

(大学院医学薬学研究部 教授 服部 裕一)

学内探訪

魚津埋没林

地下から掘り出されたスギの樹根

理学部1号館の中庭に、とっても大きなスギの樹根が展示されています。樹根は周囲が約4m、高さは約1.5mあり、樹齢は100〜200年、生成年代は日本史の時代区分でいえば古墳時代(西暦250年〜600年)くらいと推定されています。

1930年、魚津漁港を改修するために海岸を掘削していたところ、根ついた状態の大きな樹根が二百数十本発見され、魚津の埋没林として注目を集めました。その一つが旧制富山高から富山大学に移管され、現在、貴重な学術資料として保存・展示されています。

発掘された当時は、大きな物体の輸送が困難だったため、魚津で船に積み、神通川、富山運河を経由して旧制富山高(富山市連町)に運びこまれたそうです。



この樹根が、かつて陸で生育し、のちに海面下に沈んだことは自明のことですが、樹根がなぜ海面下に沈んだのか。海面が上昇したのか？陸が沈下したのか？

皆さんはどの様にお考えになりますか。

Tom's Gallery

トムズ ギャラリー

若い感性が生かされた漆芸作品展
(芸術文化学部)



全国5大学の漆芸を学ぶ大学生の卒業作品を一堂に集めた展覧会「生新の時2009」が、平成21年5月から6月に石川県輪島漆芸美術館で開催されました。

昨年より金沢美術工芸大学、金沢学院大学と本学高岡短期大学の3校の展示で始まった企画に、今年度は東京藝術大学、京都市立芸術大学が加わり、より広がりを見せました。

輪島漆芸美術館の素晴らしい環境での展示は、学校の特色がよく現れた見応えのある内容となりました。また会期中には学生間、教員間の交流が行われ、有意義な意見交換の場が設けられました。このような機会を得て始まった全国の漆芸を学ぶ学生の交流がますます深まっていくようにしていきたいものです。

来年はさらに東北芸術工科大学、広島大学等を加えて開催される予定で、本学からは芸術文化学部となつて最初の卒業生の作品が展示される事となります。

(芸術文化学部
助教 小川太郎)

編集後記

トムズPress第9号をお届けします。本号の特集記事は、高校生を対象にしました。大学が大衆化された現代でも、高校生から見ると大学はどんなところなのか良く分からない部分があるようです。

大学の授業って高校までとどこが違うの?大学に行く意味って何?本号は、これらの高校生の持つ疑問に、少しでもお答えしよう企画しました。もちろん、この冊子だけでは、あらゆる疑問や質問にお答えすることはできませんが、高校生の皆様には少しでも大学を身近に感じていただき、夢と希望を持って大学に来ていただきたいと思っています。(金森 寛)

トムズプレスサブタスクチーム

金森 寛	大学院理工学研究部教授
坂田 博美	経済学部准教授
服部 裕一	大学院医学薬学研究部教授
矢倉 隆之	大学院医学薬学研究部准教授
貴志 雅樹	芸術文化学部教授

- 本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、本誌綴じ込みはがきにてお申し込みください。
- 本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。



発行日 平成21年8月28日
発行 国立大学法人 富山大学
問合せ先 富山大学総務部広報グループ
〒930-8555 富山市五福3190 TEL076-445-6027 FAX076-445-6063
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。 <http://www.u-toyama.ac.jp/>